



見える。
つなぐ。
ヤマハ。

SWX3100/SWX3200仕様表

項目	SWX3100-10G	SWX3200-28GT	SWX3200-52GT
LANポート数	8	24	48
SFP/SFP+スロット数	2/-	-/4	-/4
コンソールポート		1ポート(RJ-45)、1ポート(USB mini-B)	
オートネゴシエーション	○	○	○
Auto MDI/MDI-X	○	○	○
スイッチング容量	20Gbit/s	128Gbit/s	176Gbit/s
転送能力	15Mpps	95Mpps	131Mpps
レイテンシー(10G/1000M/100M/10M)(※1)	-/3.4μs/6.4μs/37.8μs	1.3μs/2.5μs/5.4μs/36.9μs	1.3μs/2.5μs/5.5μs/36.9μs
最大MACアドレス登録数		16,384	
フレームバッファ	1.5MB		
ジャンボフレーム対応サイズ		最大10,240byte	
リンクアグリゲーション		スタティック設定、LACP(IEEE 802.3ad)	
VLAN		ポートベースVLAN、タグVLAN(IEEE 802.1Q)、プライベートVLAN、Voice VLAN	
スパンニングツリー		STP(IEEE 802.1D)(※2)、RSTP(IEEE 802.1w)(※2)、MSTP(IEEE 802.1s)	
最大VLAN数		256(VLAN ID 1~4,094)(※3)	
Layer3 基本設定		ARP、IP interface(IPv4、IPv6)、ICMP(IPv4、IPv6)、DNSクライアント	
Layer3 デフォルトG/W冗長化	-		VRRP
Layer3 スタティックルーティング		○	
Layer3 ダイナミックルーティング	-		OSPF(v2/v3)、RIPv1、RIPv2、RIPng
IPマルチキャスト Layer2			IGMP Snooping(v1/v2/v3)
IPマルチキャスト Layer3	-		IGMP(v2/v3)、PIM
ACL		標準IPv4 ACL、拡張IPv4 ACL、IPv6 ACL、MAC ACL	
QoS		送信キュー割当て(CoS、DSCP、ポート優先度)、ポリシーベースQoS(個別ポリシー、集約ポリシー)、プレマーキング(CoS、ToS、DSCP)、リマーキング(CoS、ToS、DSCP)、スケジューリング(SP、WRR)、輪転制御(Tail Drop)、シェーピング(ポート単位、送信キュー単位)	
フロー制御		IEEE 802.3x(全二重)、バックプレッシャー(半二重)、HOLブロッキング防止	
ストーム制御		○	
管理プロトコル		SNMP(v1/v2c/v3/Private MIB)、RMON(v1/v2)	
セキュリティ、認証機能		ポート認証(IEEE 802.1X認証、MACアドレスベース認証)、Web認証、ポートセキュリティ	
プログラム管理		TFTPによる更新、Web GUIによる更新、microSDカードからの更新/起動	
ロギング機能		メモリーに蓄積、SYSLOGでの出力、定期的なログのバックアップ機能、ログ記憶容量:最大10,000行	
サポート機能		ポートミラーリング、ポートシャットダウン、リンクスピードダウンシフト、パケットカウンター、省電力モード(IEEE 802.3az EEE)、DHCP(サーバー、クライアント)、時刻管理(手動設定、SNTP)、ループ検出、L2MSマスター/スレーブ(※4)	
スタック	-		○(最大2台)(※5)
設定手段		Web GUIによる設定、コンソール/TELNETによるコマンドを使用した設定、TFTPによるダウンロード/アップロード、microSDカードからのコピー/起動	
動作環境条件		周囲温度 0~50℃、周囲湿度 15~80%(結露しないこと)	
電源		AC100~240V(50/60Hz)(※6)、電源内蔵(電源スイッチなし)、電源インレット(3極コネクタ、C14タイプ)	
最大消費電力(皮相電力)、最大消費電力、発熱量	11.7W(22.5VA)、0.25A、42.1kJ/h	26.8W(45.9VA)、0.51A、96.5kJ/h	47.2W(78.3VA)、0.87A、169.9kJ/h
筐体	金属筐体、ファン:2基	金属筐体、ファン:2基	金属筐体、ファン:4基
電波障害規格、環境負荷物質管理		VCCIクラスA、RoHS対応	
外形寸法	220(W)×40.5(H)×250(D)mm(突起物を除く)	440(W)×44(H)×300(D)mm(突起物を除く)	
質量(付属品含まず)	1.7kg	3.7kg	4.3kg

SWX2310P仕様表

項目	SWX2310P-10G	SWX2310P-18G	SWX2310P-28GT
LANポート数	10(※7)	18(※8)	24
SFP/SFP+スロット数	2(※7)/-	2(※8)/-	-/4
コンソールポート		1ポート(RJ-45)、1ポート(USB mini-B)	
オートネゴシエーション	○	○	○
Auto MDI/MDI-X	○	○	○
PoE給電可能ポート	8(ポート1~8、IEEE 802.3at準拠)	16(ポート1~16、IEEE 802.3at準拠)	24(ポート1~24、IEEE 802.3at準拠)
給電方式		Alternative A(データ線 1、2、3、6 利用)	
最大給電能力(1ポートあたり)	30W		
最大給電能力(装置全体)	124W	247W	370W
スイッチング容量	20Gbit/s	36Gbit/s	128Gbit/s
転送能力	15Mpps	27Mpps	95Mpps
レイテンシー(10G/1000M/100M/10M)(※1)	-/3.4μs/6.4μs/38.0μs	-/3.4μs/6.4μs/38.1μs	1.5μs/2.7μs/5.6μs/36.9μs
最大MACアドレス登録数		16,384	
フレームバッファ	1.5MB		
ジャンボフレーム対応サイズ		最大10,240byte	
リンクアグリゲーション		スタティック設定、LACP(IEEE 802.3ad)	
VLAN		ポートベースVLAN、タグVLAN(IEEE 802.1Q)、プライベートVLAN、Voice VLAN	
スパンニングツリー		STP(IEEE 802.1D)(※2)、RSTP(IEEE 802.1w)(※2)、MSTP(IEEE 802.1s)	
最大VLAN数		256(VLAN ID 1~4,094)(※3)	
IPマルチキャスト Layer2			IGMP Snooping(v1/v2/v3)
ACL		標準IPv4 ACL、拡張IPv4 ACL、IPv6 ACL、MAC ACL	
QoS		送信キュー割当て(CoS、DSCP、ポート優先度)、ポリシーベースQoS(個別ポリシー、集約ポリシー)、プレマーキング(CoS、ToS、DSCP)、リマーキング(CoS、ToS、DSCP)、スケジューリング(SP、WRR)、輪転制御(Tail Drop)、シェーピング(ポート単位、送信キュー単位)	
フロー制御		IEEE 802.3x(全二重)、バックプレッシャー(半二重)、HOLブロッキング防止	
ストーム制御		○	
管理プロトコル		SNMP(v1/v2c/v3/Private MIB)、RMON(v1/v2)	
セキュリティ、認証機能		ポート認証(IEEE 802.1X認証、MACアドレスベース認証)、Web認証、ポートセキュリティ	
プログラム管理		TFTPによる更新、Web GUIによる更新、microSDカードからの更新/起動	
ロギング機能		メモリーに蓄積、SYSLOGでの出力、定期的なログのバックアップ機能、ログ記憶容量:最大10,000行	
サポート機能		ポートミラーリング、ポートシャットダウン、リンクスピードダウンシフト、パケットカウンター、省電力モード(IEEE 802.3az EEE)、DHCP(サーバー、クライアント)、時刻管理(手動設定、SNTP)、ループ検出、L2MSマスター/スレーブ(※4)	
スタック			○(最大2台)
設定手段		Web GUIによる設定、コンソール/TELNETによるコマンドを使用した設定、TFTPによるダウンロード/アップロード、microSDカードからのコピー/起動	
動作環境条件		周囲温度 0~50℃、周囲湿度 15~80%(結露しないこと)	
電源		AC100~240V(50/60Hz)(※6)、電源内蔵(電源スイッチなし)、電源インレット(3極コネクタ、C14タイプ)	
最大消費電力(皮相電力)、最大消費電力、発熱量	162W(176VA)、1.8A、584kJ/h	306W(326VA)、3.4A、1102kJ/h	459W(468VA)、5.1A、1653kJ/h
エネルギー消費効率(W/(Gbit/s))	A区分 1.3(※9)	A区分 1.0(※9)	A区分 0.5(※9)
最大実効伝送速度(Gbit/s)	10(※9)	18(※9)	64(※9)
測定時ポート速度とポート数	1Gbit/s:10(※9)	1Gbit/s:18(※9)	1Gbit/s:24(※9)、10Gbit/s:4
筐体	金属筐体、ファン:2基	金属筐体、ファン:3基	金属筐体、ファン:4基
電波障害規格、環境負荷物質管理		VCCIクラスA、RoHS対応、省エネ法準拠	
外形寸法	220(W)×42(H)×294(D)mm(突起物を除く)	330(W)×44(H)×294(D)mm(突起物を除く)	440(W)×44(H)×294(D)mm(突起物を除く)
質量(付属品含まず)	2.2kg	3.0kg	3.9kg

- (※1) RFC2544に準じた測定値(ストア&フォワード方式、フレームサイズ64Byte)です。
- (※2) STPおよびRSTPは、MSTPの下位互換により対応します。
- (※3) VLAN ID 1はデフォルトVLAN IDです。
- (※4) L2MS(Layer2 Management Service)は、ヤマハネットワーク機器をレイヤー2レベルで管理する機能です。L2MSスレーブ対応機種は、技術情報(RTpro)サイトににて公開しております。
- (※5) 発売後提供予定のファームウェアでスタックの最大数は4まで拡張予定です。
- (※6) 付属の電源ケーブルを使用する場合は、日本国内AC100Vのみ使用可能です。
- (※7) 9-10ポートはコンポートです。LANポートとSFPスロットは排他利用となります。同時にLAN、SFPポートにケーブルを挿入しないでください。誤動作の原因になることがあります。コンポートのLANポートは1000Base-Tのみ対応します。
- (※8) 17-18ポートはコンポートです。LANポートとSFPスロットは排他利用となります。同時にLAN、SFPポートにケーブルを挿入しないでください。誤動作の原因になることがあります。コンポートのLANポートは1000Base-Tのみ対応します。
- (※9) 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づくスイッチのエネルギー消費効率です。

▲安全に関するご注意 ●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。

●本製品の日本国外での使用については一切のサポート、保証をいたしません。●このカタログの記載内容は2018年2月現在のものです。仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。●価格には本体設置費用は含まれておりません。●本カタログに記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標あるいは商標です。

本製品のお問い合わせ先 **ヤマハルーターお客様相談センター** ●お電話によるお問い合わせ ☎ **03-5651-1330**
 ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
 (土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。) ●FAXによるお問い合わせ ☎ **053-460-3489**

ヤマハネットワーク機器に関する詳細な情報はホームページをご覧ください > <https://network.yamaha.com/>



お問い合わせ先

感動を・ともに・創る
 製造元
ヤマハ株式会社
 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
 2018年2月作成

カタログコード MSWX320003



さまざまな規模のLAN構築と管理をフルカバーする 強力なラインナップ、ここに誕生。

大規模から小規模まで、ネットワーク構築に最適なL3スイッチ『SWX3100/SWX3200シリーズ』と、全ポートから給電可能なL2 PoEスイッチ『SWX2310Pシリーズ』が新たにラインナップに加わりました。



ライトL3スイッチ

SWX3100-10G 希望小売価格(税抜) 74,800円

スタンダードL3スイッチ

SWX3200-28GT 希望小売価格(税抜) 298,000円

SWX3200-52GT 希望小売価格(税抜) 498,000円

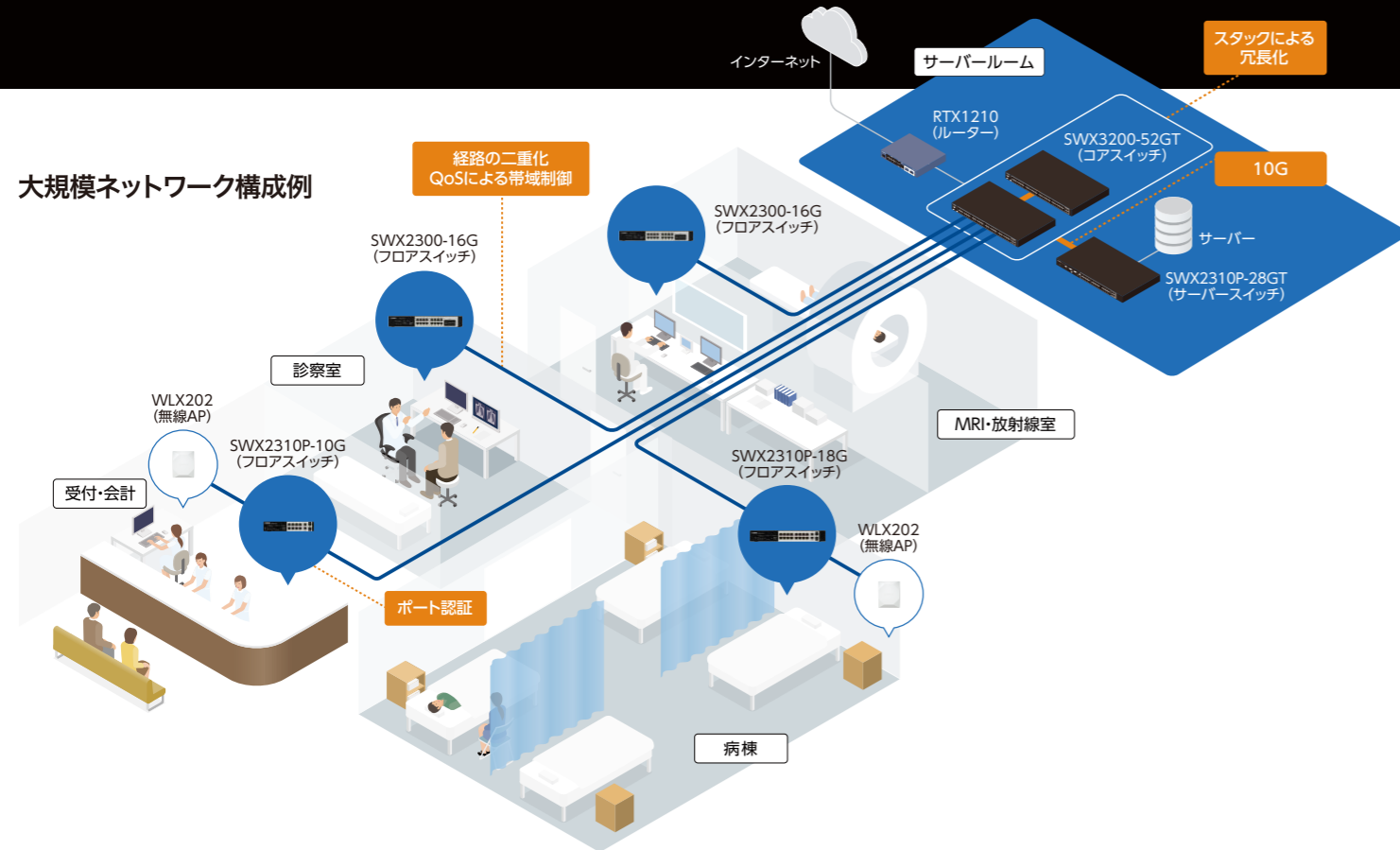
インテリジェントL2 PoEスイッチ

SWX2310P-10G 希望小売価格(税抜) 115,000円

SWX2310P-18G 希望小売価格(税抜) 176,000円

SWX2310P-28GT 希望小売価格(税抜) 225,000円

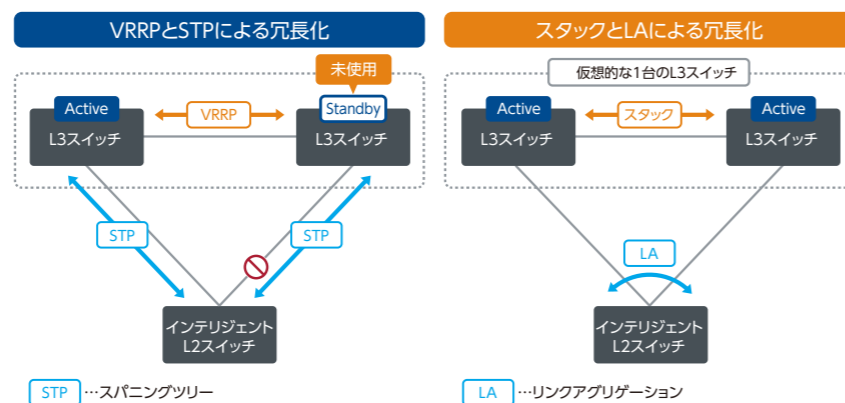
大規模ネットワーク構成例



スタック機能

SWX3200-28GT/SWX3200-52GT/
SWX2310P-28GT

ヤマハのネットワーク機器では初めてスタック機能に対応しました。ネットワークの障害対策と機器の冗長化に対応します。
※スタック機能を使用する場合には、別売りのダイレクトアタッチケーブル『YDAC-10G-1M』『YDAC-10G-3M』を使用してください。



充実した管理/設定機能

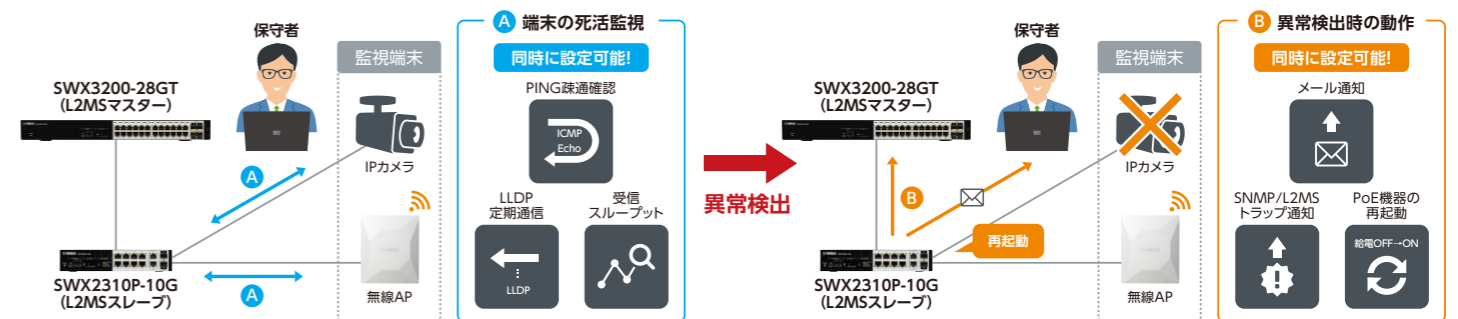
「LANマップLight」機能により、スイッチ単体でループや端末の異常状態を確認できます。また、ダッシュボード機能では、スイッチのリソース状態やポート使用状況をリアルタイムに確認できます。スイッチの設定もWeb GUIにより簡単にこなせます。



死活監視機能

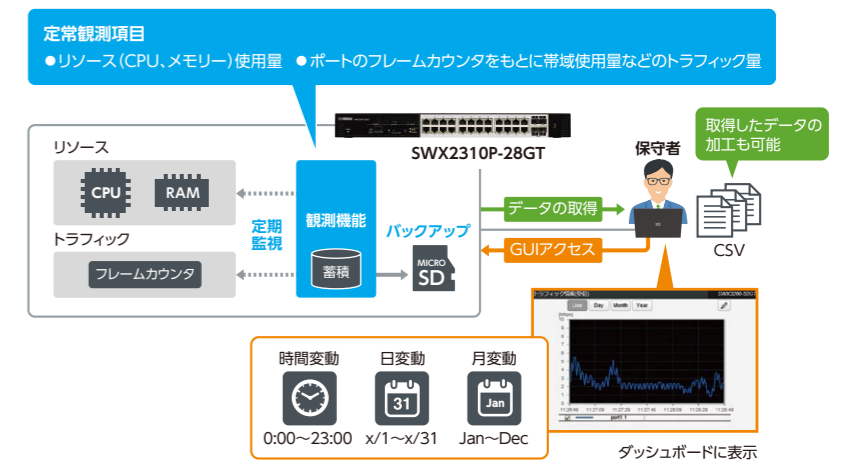
監視方法の組み合わせ(PING疎通確認、LLDP定期通信、受信スループット)による、高精度な端末の死活監視が可能です。異常検出時の動作(メール通知、SNMP/L2MSトラップ通知、PoE機器の再起動)も選択可能です。

※PoE機器の再起動は『SWX2310Pシリーズ』のみ対応しています。



パフォーマンス観測

CPUやメモリの使用量、トラフィック量を定期的に観測。期間(時間/日/月)ごとの変動データを1年分スイッチ内部に蓄積します。蓄積データやライブデータはダッシュボード画面で確認できます。蓄積データはmicroSDカードへのバックアップやPCへの保存も可能です。短期的な通信状況の把握や、長期的な需要予測、将来の設備設計に活用できます。



関連オプション



品名	品番	希望小売価格(税抜)	発売時期
SFPモジュール	YSFP-G-SXA	68,000円	2018年3月予定
	YSFP-G-LXA	136,000円	
SFP+モジュール	YSFP-10G-SR	78,000円	2018年3月予定
	YSFP-10G-LR	146,000円	
ダイレクトアタッチケーブル	YDAC-10G-1M	20,000円	2018年3月予定
	YDAC-10G-3M	25,000円	
ラックマウントキット	YMO-RACK1U	18,000円	発売中
ウォールマウントキット	YWK-1200D	18,000円	発売中
RJ-45コンソールケーブル	YRC-RJ45C	4,800円	発売中